



## 開催報告

- ・ みがかずば研究員交流会
- ・ 2023年度サマープログラム
- ・ 第35回IGLセミナー サマプロ特別講演会  
“Navigating the Ever-changing Global World”
- ・ 第36回IGLセミナー  
「Gender diversity in Japan and beyond 日本および世界におけるジェンダー・ダイバーシティ」
- ・ 第37回IGLセミナー  
「ソフトスキルとその応用可能性ー学びの場と職場でよりよい自己を発揮するために」

## 德音塾

- ・ お茶大女性リーダー育成塾:德音塾 2023年度後期活動報告と2024年度の講座案内

## 後期授業報告

- ・ グローバル・リーダーシップ実習 I・II
- ・ ダイバーシティ論
- ・ 女性のキャリアと経済
- ・ アカデミック女性リーダーへの道(応用編) 1/25, 2/2, 2/8

## 2024年度前期IGL関連授業

- ・ 前期授業

## お知らせ

- ・ 若手研究者支援説明会
- ・ 報告書が出来上がりました
- ・ 英語によるエッセイコンテストOcha-IGL Award 2023入賞者決定
- ・ IGL新リーフレット完成

## 開催報告

### みがかずば研究員交流会

本学では、すぐれた女性研究者の継続的な研究活動を支援し、女性研究者が研究中断後に円滑に現場復帰する機会を提供するために、独自の特別研究員(呼称:みがかずば研究員)制度を導入しています。

2023年度第1回みがかずば研究員交流会を8月3日、第2回を2月8日に開催しました。研究員が主体となり企画と運営を行い、研究分野の異なる他の研究員や研究所所属の先生方との意見交換を通して、自身の研究を客観的に見つめ直す有意義な会となりました。

また、みがかずば研究員制度の意義について意見交換が行われ、今後のキャリアプランについても熟考する会

ともなりました。グローバルリーダーシップ研究所では今後も半年に一度を目途に交流会を開催する予定です。(参考)

女性研究者のための研究継続奨励型「特別研究員制度」(呼称「みがかずば研究員制度」)の創設

HP:

<https://www.cf.ocha.ac.jp/igl/j/menu/introduction/d003276.html>

文責:幸村 凜紗  
(企画戦略課 男女共同参画担当 係員)



## 2023年度サマープログラム

日時:2023年7月1日(土)~8月4日(土)  
対象:本学学部生・大学院生・本学(国内・海外)協定校生  
使用言語:英語・日本語  
参加者数:海外協定校生59名(19校14の国と地域)、本学履修生44名、本学参加者57名

### プログラム内容:

新型コロナウイルス感染症ウィルス感染拡大を受け、2020年よりオンラインによる実施を継続してきましたが、2023年度は、4年ぶりの対面での開催となりました。

海外学生と本学学生が協働して取り組むプロジェクトワークについては、渡日前(7月1日~18日)の期間に、オンラインでセミナーを実施しペアワークを開始し、渡日後には、対面での授業とグループワークを実施しました。日本語学習者のためのJapanese Language Courseでも、7月1日から渡日までの間に、オンラインで日本語会話パートナーとのバディ活動が実施され、24日からは、Japanese Language Courseの授業及び、英語によるSubject Based Courseの授業が始まりました。

Japanese Language Courseでは、都内一日観光を各自で行い、最終日に発表を行いました。

Subject Based Courseでは、3つのサブコース別に集中講義が行われ、Project Work Courseでは、多国籍の学生がチームを組んで、各国における教育実践をもとに、その国や地域、コミュニティで育まれてきた文化的アイデンティティを他国と比較しあい、自国の文化について学びあう機会となりました。

サマープログラム特別講演会として、NHK国際放送局長 田中淳子氏による“*What defines a global leader?*” 筑波大学教授キャロライン・F・ベントン氏(元筑波大学副学長)による“*Navigating the Ever-changing Global World*”が開催され、グローバルリーダーシップについて参加者各々が見識を深めました。課外活動として文化イベント「狂言ワークショップ」、「浴衣体験」、「制服」をテーマにした附属中学校との共同イベント(附属中学生51名参加)を開催し、日本文化について学びました。

ボランティア学生によるセレモニー、歓送迎会、巻きずし体験、川越一日ツアーなどが実施され、活発な国際交流活動を行うことができ、好評のうちに幕を閉じました。

文責:長塚 尚子  
(URAリエゾンセンター URA)

## 第35回IGLセミナー サマプロ特別講演会 “Navigating the Ever-changing Global World”



日時:2023年7月27日(木) 13:20-14:50  
ゲスト講師:Caroline F. Benton  
(Professor at the university's Institute of Business Science, University of Tsukuba)  
対象:サマープログラム履修者、本学学生及び教職員

言語:英語(通訳なし)  
司会:倉光ミナ子(グローバルリーダーシップ研究所副所長)  
参加者数:約60名

共催:グローバルリーダーシップ研究所  
Ocha Summer Program for Global Leaders 2023

### 講義内容:

技術的、社会的、経済的に刻々と変化する今日の環境において、グローバルイゼーショ

ンはその規模を拡大しているだけでなく、その性質も変化しています。つまり、その国境を越えた知識やノウハウの流れは、今やモノの流れを凌駕していることを意味します。そのために求められるのは、国と国、そして人と人との間の大きな協力と信頼であること、そして、最も重要なことは、次世代を担う若いリーダーには、さまざまな境界を越えて協力するだけでなく、絶え間ない変化に巧みに対応する能力が求められるということだと強調されました。この講演会では、未来を切り開くために必要なコンピテンシーについて講義され、その理論と実例を紹介して頂きました。参加者の関心も高く、講演会終了後、活発な質疑応答が行われました。

文責:長塚 尚子  
(URAリエゾンセンター URA)



## 第36回IGLセミナー

# 「Gender diversity in Japan and beyond 日本および世界におけるジェンダー・ダイバーシティ」

フランス氏は米国、ノルウェー、南アフリカ、日本と、複数の国をフィールドに多様な性について考察を行っており、抑圧や葛藤ということで語られがちであるLGBTQのポジビティに着目しています。セミナーの冒頭では、ジェンダー・ダイバーシティという言葉のなかには実に多様なアイデンティティを持つ人々が存在していることを指摘し、具体的な例をあげて説明がなされました。またトランスジェンダーにまつわる myth (誤解) についても言及し、性自認、性的指向、身体の性、性表現が組み合わさりグラデーションがあること、トランスジェンダーの社会での捉えられ方や受容が文化によって異なることを示しました。欧米やアジアでは異なるジェンダー規範(男性性や女性性に関するステレオタイプなど)が存在しており、トランスジェンダーの議論はその捉え返しに寄与することも示唆されました。

質疑応答では、参加した学生から、他者からジェンダーに関して偏見に満ちた言葉を浴びせられたことがあり、その場では適切な対応がとれなかったという経験が

共有され、そうした場面ではどう対処すべきだったのかという質問がなされました。フランス氏は参加した学生の気持ちに寄り添いつつ、そうした言動は本人が無自覚に発していることも多いのでまずはそのことに気づかせることが必要であると返答しました。多様な性をトランスナショナルな現象として捉えることで参加者も新たな発見を得ることができました。

文責: 岡村 利恵  
(埼玉大学 准教授)

グローバルリーダーシップ研究所主催  
IGLセミナー・「ダイバーシティ論」公開授業

## GENDER DIVERSITY IN JAPAN AND BEYOND

日本および世界におけるジェンダー・ダイバーシティ

TUE Nov 21,  
2023 15:00-16:30

SPEAKER  
Dr. France Rose Hartline  
Postdoctoral Fellow, JSPS

対象: 本学学生・本学教職員  
使用言語: 英語

参加費はなし (11/20 17:00締切)  
IGLのホームページもしくはQRコードから

問い合わせ: info-leader@cc.ocha.ac.jp

About the Speaker  
France rose hartline is a postdoctoral fellow in Gender Studies with a focus on trans issues. Originally from New Orleans, United States, she immigrated to Norway in 2012 and will return there after his postdoctoral fellowship. France also engages in trans activism as a speaker, workshop organizer and artist in his spare time. In addition to trans issues, France is interested in neurodiversity, eco-feminism and disability rights.



## 第37回IGLセミナー

# 「ソフトスキルとその応用可能性—学びの場と職場でよりよい自己を発揮するために」

グローバルリーダーシップ研究所主催 IGLセミナー  
Special Lecture

## ソフトスキルの応用可能性

—学びの場と職場で—  
よりよい自己を発揮するために

SOFT SKILLS AND ITS APPLICABILITY FOR A BETTER HUMAN BEING AT EDUCATIONAL AND WORKPLACE ENVIRONMENT

25 DEC. 2023  
11:00-12:30

登壇言語: 英語  
質疑形式: 対面

専門性を深めるためのソフトスキルとは？  
大学や職場でのケーススタディとともにゲームや組織の一員として卒業生の経験を通じて学びたいという方にもおすすめです。

This lecture aims to explore the applicability that soft skills management can find in the field of education and work environment. At first, the different types of skills will be identified. They will be placed in context in regards to the university environment and work force environment. All them will be needed to contribute success in areas such as education and project career development. The unbridled connection between soft skills and disciplines (teacher, engineer, doctor, etc.) come from this approach that highlights the boundaries of a right relationship-building.  
But the scope of this lecture does not stand just in the soft skills framework by itself. The second part of the lecture will explore the benefits of providing the students a study-case approach to lead their learning experience and applicability.

Prof. Dr. ANA MARIÁ LARA PALMA  
University of Burgos  
マリア・パルマ准教授  
ブルゴス大学 (スペイン)

PhD in Engineering from the University of Burgos. Her contributions are focused on Knowledge Management and Information Ethics and Healthcare digital transformation. Dr. Lara Palma contributed in a joint research with Hany University in Egypt supported by MEET. She has more than 27 publications and 50 works presented in national and international conferences. Recently published her edited book "International Education Narratives. Transdisciplinary relative innovation experiences based on digital teaching".

申込 事前登録制 (12/22 (金) 15時〆切) (顔写真付き) (職カフォーム)  
会場 お茶の水女子大学 国際交流学生プラザ2階多目的ホール  
対象 学生・教職員 一般

問合せ先: グローバルリーダーシップ研究所 info-leader@cc.ocha.ac.jp



パルマ教授は、「ソフトスキル」というと何か目新しいことのように聞こえるが、私たちは実際には初等教育や家庭生活のなかでの幼いころからソフトスキルと言われるものを段階的に学んできており、クラスメイトとの円滑なコミュニケーション、時間管理、整理整頓、宿題への取組などがその例であると指摘しました。中等教育に進むとソフトスキルはより複雑化し、進学という目標も重なってタスク管理という意味合いが強くなることを言及するとともに、これらのソフトスキルの修得はカリキュラムとして明確に存在しているわけではないため、学生の汎用的能力(ソフトスキル)を重視する産業界と専門性を重視する高等教育との間のギャップが存在していると問題提起しました。パルマ教授は、ハードスキルは「何をするか」であり、ソフトスキルは「何をやるか」を考えた際に、それを「どうやるか」とであると強調しました。また、特に近

年においてはグローバル化が進展し、異なる背景を持つ多様な人々と協働することが重視されるようになったため、文化差への理解ということもソフトスキルの重要な要素のひとつとなりつつあることが示されました。ソフトスキルが乏しければ、人と人との間で摩擦や誤解、精神的な消耗などが生じやすくなり、これは職場全体でみれば多大なコストであると指摘しました。最後にパルマ教授はソフトスキルの修得は自己の成長とも重なり、大人になってからも日々の学びや仕事のなかで意識して伸ばしていくことが必要であると述べ、発表後の質疑応答でも参加者からの熱心な質問に丁寧に答えてくださいました。

文責: 岡村 利恵  
(埼玉大学 准教授)

## お茶大女性リーダー育成塾：徹音塾 2023年度後期活動報告と2024年度の講座案内

2023年度の徹音塾の受講者は232名となり、塾生は延べ432名となりました。遠方や育児休業期間にかかる塾生の参加が可能であることから、オンライン開催への一定のニーズを実感します。5月に開催された上野千鶴子氏特別講演には155名の参加があり、徹音塾を広く一般の方々に知っていただく良い機会となりました。

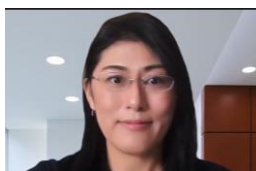
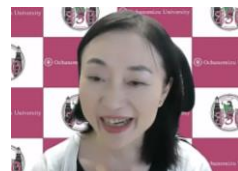
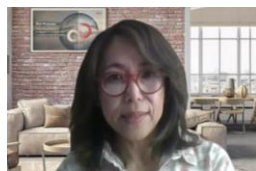
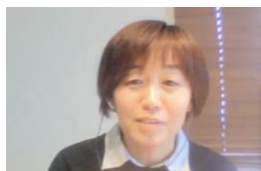
9月にはお茶大プロフェッショナルレクチャー、10月から2024年2月にかけては、2日構成のビジネス講座を毎月開講しました。塾生からは、普段接することのない様々な職種・世代の塾生との意見交換やグループワークがとても刺激的だったとの反響がありました。

次年度の2024年度は、新しい講師の先生方にご登壇をいただくほか、引き続きオンライン開催をメインとしつつ、対面とオンラインのハイブリッド開催を加えたプログラムの一層の充実をはかります。女性のエンパワーメントとリーダー

シップ講座(6科目)、お茶大プロフェッショナルレクチャー(5科目)、ビジネス講座(6科目)の3講座17科目の開講に加え、2024年5月11日(土)には、小児科医・医学博士、文教大学教育学部教授の成田奈緒子氏による特別講演を開催します(どなたでも参加可能・要申込・無料・ハイブリッド(対面・オンライン)開催)。

また、4月6日(土)には2024年度説明会をオンライン開催します(参加費無料、要事前申込)。詳しくは徹音塾のWebサイトをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています。

文責：倉脇 雅子  
(グローバルリーダーシップ研究所  
特任アソシエイトフェロー)



2023年9月～2024年2月開催の講座

(P)お茶大プロフェッショナルレクチャー、(B) ビジネス講座

2023年開講科目		
P	2023/9/2	「〈健康〉と〈病い〉から読み解く近現代社会の課題」 (宝月理恵)
P	2023/9/9	「グローバル資本主義とホームとしての地球(グローブ)」 (水野勲)
B	2023/10/21,28	「文字・声・画像が創り出す印象とコミュニケーションへの応用」 (内藤章江)
B	2023/11/4,11	「マーケティング入門」 (神原理)
B	2023/11/18,25	「いちばんやさしい脱炭素社会 ～カーボンニュートラルの最前線～」 (松田有希)
B	2023/12/9,16	「会計基礎力を身に付ける - 取引記録の仕組みと企業活動の成績表 -」 (櫻井康弘)
2024年開講科目		
B	2024/2/3,10	「働くあなたを守る、知っておきたい労働法」 (内藤忍)

## 2024年度 開催概要

- 時間:13:30~16:40(すべて土曜日)  
 形式:Zoomを使うオンライン講座  
 ※ PCでの受講を推奨します  
 ※ 1科目から受講いただけます  
 ※ 各科目ともに開講週の月曜日が申込締切です  
 ※ 最新情報はWebサイト、Xをご覧ください



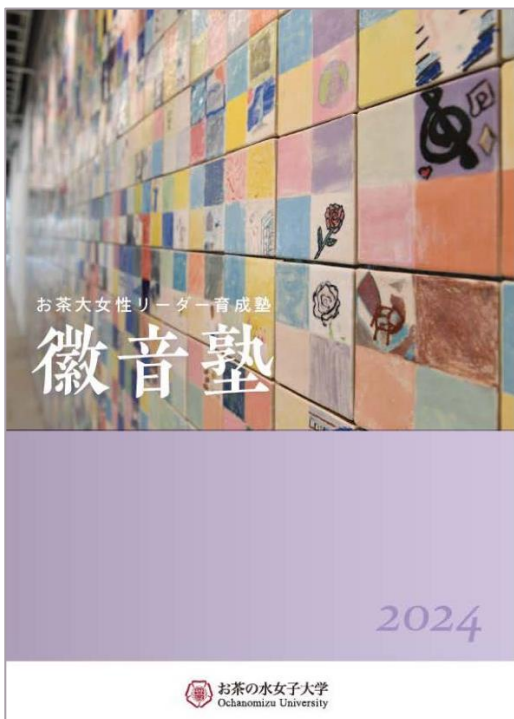
Webサイト



X

講座区分 E: 女性のエンパワーメントとリーダーシップ講座 P: お茶大プロフェッショナルレクチャー B: ビジネス講座

講座番号	日付	講義タイトル	担当者
1	E01 5/11	お母さんが幸せであれば、子どもも幸せ - 頑張りすぎない子育てを - *ハイブリッド (対面・オンライン)	成田奈緒子
2	E02 5/18	自分らしい働き方とリーダー像とは一仕事もプライベートも楽しむために -	木村恵子
3	E03 5/25	変化する時代に、私らしいしなやかなキャリアを	島津めぐみ
4	E04 6/1	しなやかなリーダーシップを考える ~DXとWXをキーワードに~	境麻千子
5	E05 6/29	人が育つ「場」	高島まな
6	P01 7/6	ようこそ植物二次代謝ワールドへ	加藤美砂子
7	P02 7/13	生物の"多様性"から考える理想の未来像 *ハイブリッド (対面・オンライン)	嵐田智
8	E06 7/20	幸せなキャリア形成に向けて意識したいこと	中川晴美
9	P03 7/27	J. S. バッハの『2声のためのインヴェンション』を分析する☆!	浅井佑太
10	P04 8/3	結婚・子育ての「これまで」と「これから」	西村純子
11	B01 9/21, 28	起業・新規事業開発に効く! イノベーション創出の知識と視点	鹿住倫世
12	P05 10/5	「空間」を媒介に、現代社会や都市のアップデートを考える	藤山真美子
13	B02 10/19, 26	強みを活かしたキャリアデザインとリーダーシップ	重次泰子
14	B03 11/9, 16	いちばんやさしい脱炭素社会 ~カーボンニュートラルの最前線~	松田有希
15	B04 11/30, 12/7	マーケティング入門 *ハイブリッド (対面・オンライン)	神原理
16	B05 12/14, 21	働く女性のための会計学「会計基礎力を身に付ける - 取引記録の仕組みと企業活動の成績表 -」	櫻井康弘
17	B06 2/15, 22	働くあなたを守る、知っておきたい労働法	内藤忍



◇新しいパンフレットができあがりました。



◇ご参加お待ちしております。

## グローバル・リーダーシップ実習 I・II

この授業の目標は、実践型学習を通じてリーダーシップを身につけることです。「I」は留学生も交えて英語で開講されました。講義やワークショップの後、2月2日にお茶大生と留学生との交流イベントを学生主体で実施し、ゲームとランチを楽しみました。

「II」はいよいよイタリアのコッレージョ・ヌオーヴォでのソフト・スキル実習です。帰国する2人の留学生を除き、15人全員が引き続き参加しました。ソフトスキルとは、ハードスキル(測定可能な技術や専門知識)と異なり、業務遂行上の性格特性や行動様式を言います。実習は2月21日から3月3日まで、現地滞在10日間でした。イタリア人講師による英語での授業のほか、パヴィア市で活躍する3人の女性リーダーを訪問し、最後にはコッレージョ・ヌオーヴォ学長らを前にグループでのプレゼンをしました。コッレージョ・ヌオーヴォ学生との交流会や週末の近隣都市観光も全て学生主体で実施しました。

文責:小林 誠  
(基幹研究院人間科学系 教授)



## ダイバーシティ論

今年度の授業の新たな試みとしては、「ダイバーシティ」をひとつのディスコースと捉え、その概念の根底にあるにも関わらず見過ごされやすくなった「差別」や「偏見」に目を向けることを重視し、米国の公民権運動を学び直しました。テキストでは伝わりにくい部分は「ミシシッピ・バーニング」という映画を教材にして理解を補いました。

「ダイバーシティ」をテーマにした学生の最終発表は質の高いものが非常に多く、それぞれの発表に熱心に聞き入り、積極的に議論する学生の姿が見られました。

文責:岡村 利恵  
(埼玉大学 准教授)

## 女性のキャリアと経済

今年度の本講座は例年とはフォーマットを異にして、全15回とも担当教員による講義形式で行われました(履修登録者は計28名)。全体を通した講義の主眼を「少子高齢化、脱炭素化、デジタル化、雇用慣行の変化など、従来の制度や価値観を揺り動かす様々な変化が同時並行的に生じている中、本学の学生が社会人としてどのような分野に進んだ場合でも活用し得るであろう『広い意味での経済リテラシー』を学ぶ」点に置いたうえで、経済学、法学、社会心理学、情報・データ分析などの諸分野から、予備知識のない学生にも理解しやすいと思われる今日的なトピックを選び、最近の事象や社会情勢の変化なども踏まえつつ解説に努めました。また、講義内容の定着や確認を図る観点から、受講生による口頭発表や記述式のテーマ論題なども織り込みながら授業を行いました。

講義で取り扱ったテーマは大きく4つの分野から構成しました。具体的には、(1) データ分析・因果推論の入門(1~5回<10/3~10/31>)では因果関係と相関関係、交絡因子と因果グラフ、統計的差別、2値分類と混同行列、因果性と損害賠償の法理など、(2) ミクロ経済の入門(6~11回<11/7~12/12>)では需要曲線の多面的な解釈、

消費行動の外部性、同調行動の反応曲線と臨界値、価格弾力性とマーケティング、消費者余剰とダイナミック・プライシング、AI時代の価格戦略、需要供給均衡の安定と不安定など、(3) デジタル空間の情報衛生(インフォメーション・ヘルス)の問題(12回<12/19>)、(4) 労働経済の入門(13~15回<1/9~1/30>)では雇用関連統計の読み方、日本型雇用システムの功罪と変化、働き方改革と雇用のグラデーション化、AIやデジタル革命が労働市場へ及ぼす影響などです。

受講生が文系・理系双方のバックグラウンドから参加していたこともあってか、講義内容に対する関心度には個々のトピックごとに若干の濃淡も見られましたが、全体に学習意欲は高い様子が窺われ、質問に対する回答や課題への取り組み姿勢などもの確かつ意欲的なものが多かったです。

文責:松下 顕  
(グローバルリーダーシップ研究所 客員教授)

院生の皆さん、必見!!

大学院共通科目 後期・集中講義  
[23S0133]「アカデミック女性リーダーへの道(応用編)」

## 学振特別研究員を目指そう!!

～研究計画・資金調達・プレゼンのコツを学ぶ～

【対象】 博士前期課程・後期課程の学生 \*聴講可(ただし、事前申込必要)

1日目 2024年1月25日(木) \*共通講義棟2号館201室 10:00-16:30  
\*審査委員経験者等による講義  
\*日本学術振興会特別研究員による体験談および討論

2日目 2024年2月2日(金)10:00-16:30 \*対面またはZoomによるオンライン  
\*応募書類作成実践 \*教員・学振特別研究員からの個別アドバイス

3日目 2024年2月8日(木) 9:00-17:00 \*夫人間文化棟大会議室(604)  
\*魅せるプレゼンテーションスキルアップ講座  
\*池田 まさみ先生 (十文字学園女子大学教授)

\*聴講者(単位取得希望者)は、原則3日履すべてに出席してください  
\*聴講を希望する人(学部生等を含む)は、QRコードよりお申し込みください(※期:2024年1月12日(金)17時)

シラバスはこちら 申請申込みはこちら 講義内容詳細はこちら

【お問合せ先】グローバルリーダーシップ研究所 igl-juyo@cc.ocha.ac.jp

「アカデミック女性リーダーへの道(応用編)」(大学院後期集中講義)は、日本学術振興会特別研究員を目指す院生のための準備講座です。本講座は3日間(1/25, 2/2, 2/8)のプログラムで構成され、初日は日本学術振興会および競争的研究資金の審査委員経験のある学内教員および学振特別研究員による講義から審査・申請の際のポイントを学びました。2日目には、仮申請書類に対する個別指導から論理的思考力を高め、3日目の講座では自身の研究内容を効果的に伝えるプレゼンテーション能力を磨きました。次年度の学振特別研究員の申請に向けた準備ができること、他領域・専門外

の人にも自身の研究を説明するプレゼン力が磨かれることから、実践的な講座として受講生からも好評を得ています。また本講座を履修した院生のなかから、毎年特別研究員が誕生しており、授業の有効性も裏付けられています。本授業は次年度も開講予定です。院生の皆さんの積極的な参加を歓迎します。

文責:倉脇 雅子  
(グローバルリーダーシップ研究所  
特任アソシエイトフェロー)



## 2024年度前期IGL関連授業

### 前期授業

グローバルリーダーシップ研究所(IGL)では、2024年度前期に以下の授業の開講を予定しています。学生の皆さんの積極的な受講を歓迎します。

授業名	開講時期	内容
お茶の水女子大学論 [24A0019](学部) [CDP:キャリアデザインプログラム基幹科目]	水曜 9・10限	お茶大の歴史を学び、お茶大の今を知り、自らの未来を描くための授業です。以下の要素から成り立ちます。 ・お茶大の歴史、お茶大生の特徴、学内のインターンシッププログラムの紹介 ・学長講演 ・特別講演 ・お茶大卒業生のロールモデル講演 ・企業や起業の基礎に関する講義
キャリア開発特論(基礎編) [24S2006](大学院) 総合コース[24A0034](学部)	前期集中	アクセンチュア株式会社協力のもと、本学卒業生を含む同社員による講義や、社員と学生とのグループワークを通して、仕事、キャリア、グローバル人材とは何かについて学び考え、自らのキャリアプランを考えることを目的としています。

### 大学院生・ポスドクの皆さんの研究を応援します！

グローバルリーダーシップ研究所では、国際的に活躍する女性研究者の育成を目的として、本学の大学院博士後期課程学生、ポスドク研究者等の海外調査研究や国際学会等での発表に対し、海外渡航費の支援を行います。応募される方は4月11日(木) 12:20~12:50に実施する【応募者向け説明会】に必ず出席してください。

これまで多くの若手研究者の方々がこの支援を活用して研究に行っていました。今年度もこの支援をとおして、研究活動の場を広げていただければと思います。多くの皆さまのご応募をお待ちしております。

応募者向け説明会の  
お申込みはこちらから>



文責：倉脇 雅子  
(グローバルリーダーシップ研究所  
特任アソシエイトフェロー)

大学院生、ポスドク向け  
**海外調査研究や国際学会発表を予定している皆さん！**

「若手研究者支援」応募説明会  
※応募される方は事前にお出席下さい。

**2024年4月11日(木) 12:20~12:50**  
@オンライン (Zoom)

説明会出席申込フォーム

【海外調査研究】	【国際学会発表】
現地における文献や資料の調査、フィールドワーク、新しい研究・実験手法の確立、国内では困難な実験や装置使用などにかかる遠征費(上限30万円)	海外で開催される国際学会での研究成果発表、講演、ポスター発表等、本人が発表するものにかかる遠征費(上限30万円)
対象者	大学院博士後期課程学生、ポスドク、研究者等(ただし、条件あり)
実施期間	2024年6月6日(木)以降に出席し2025年2月28日(金)に帰国することが可能な調査等
応募期間	2024年4月22日(日)午前9時~5月7日(火)午前10時

申込受付：4/10(水) 12時

【問合せ先】グローバルリーダーシップ研究所「若手研究者支援」事務局  
E-mail: wakate-research@cc.ocha.ac.jp

## 報告書が出来上がりました

### ◇国際シンポジウム報告書

「ガラスの崖」をよじ登る：「ガラスの天井」の先にあるもうひとつの見えない障壁

Climbing up the Glass Cliff: Another Invisible Barrier Behind the Glass Ceiling?

【開催日時】2022年12月23日

【講演者】ミッシェル・ライアン教授、小久保みどり教授、ヘレン・ピーターソン教授

### ◇グローバルリーダーシップ研究所令和4年度 活動報告書

ウェブサイトにて公開しています。>



【国際シンポジウム報告書】



【2022年度活動報告書】

## 英語によるエッセイコンテスト Ocha-IGL Award 2023入賞者決定

エッセイコンテスト「Ocha-IGL Award 2023」が今年も開催されました。IGL主催または共催のシンポジウム、セミナーに参加した本学学生(学部生・大学院生・研究生)を対象として「IGLセミナーにおいてリーダーシップ／リーダーについてどのような学びが得られたか、その学びを今後どのように活かしていきたいか」について英語によるエッセイを募りました。

厳正な審査の結果、今年度は最優秀賞と優秀賞は該当者がいませんでした。特別賞は、生活科学部人間・環境科学科3年の菅野 萌々寧さんが受賞されました。IGLでは今後もリーダーシップに関するオンラインセミナー、シンポジウムへの参加を学生に呼びかけ、リーダーシップに関して考える機会を設けて行きます。

文責：Ocha-IGL Award事務局 林 有維  
(グローバルリーダーシップ研究所  
アカデミック・アシスタント)

## IGL新リーフレット完成

国際交流留学生プラザ1階、本館117室前、学生キャリア支援課、附属図書館に置いてあります。  
是非手に取ってご覧ください。



日本語版

英語版

ウェブサイトでも公開しています。

【発行元】国立大学法人お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所  
〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 人間文化創成科学研究科棟506室  
Tel/Fax: 03 (5978) 5520 E-mail: info-leader@cc.ocha.ac.jp  
URL: <https://www.cf.ocha.ac.jp/igl/>